

三、使用料(手取料) 一〇九一、七〇〇

四、國庫支出金 八七〇、二二五

五、道支支出金 一八一、八六九

六、寄附金 九三〇、〇〇〇

七、繰越金 五三〇、〇〇〇

八、雑収入 八七七、〇〇〇

計 六〇五七七、五〇七円

【歳出の部】

一、議會費 五九七、二二九

二、役場費 一、一八九九、九〇九

三、警察消防費 八八〇、四二六

四、土木費 四八六、四〇〇

五、教育費 一、三九四、三九五

六、社會及勞働施設費 九二八、五、六九八

七、保健衛生費 二四七、〇、一五七

八、産業經濟費 二六六、六九〇

九、財産費 一、二四六、九八二

十、統計調査費 六五、〇〇〇

十一、選挙費 四六五、六四八

十二、公債費 一七五、九三〇

十三、諸支支出金 一八八、二〇〇

十四、豫備費 六二五、〇〇〇

計 六〇六三七、五〇七

主な事業

各項目に計上した新規事業と主な事業を以下略述すると

一、役場費

【町政だより】の發刊を新規事業として計上した。

二、警察消防費

警察關係では防犯犯罪捜査上必要な器具機械の整備を行うことにした。

消防關係では之れまで三ヶ年に亘つて器具機械の整備を行ったので此點では全道一を誇る迄になつたので、今年には常備消防三名の増員を行つて、消防陣容の強化を図ることとした。それで中央分團六名、北部分團二名、野視分團二名の配置と六名。

三、土木費

昨年から今年にかけては道路の砂

利敷をやつて好成绩を挙げているので、本年も之れを續行することにした。上下水道は都市建設上重要な施設なので、設計に着手する前の基本調査を行うことにした。公園の施設には、昨年より着手し昨秋野球場の工事にかゝつたが、本年は之れを完成し、尙しよう造路の開墾と競技場の設置を計画している。都市計画については、野幌地区に新に区画整理を行うことにした。

四、教育費

小學校に於ては八幡、角山、江別第三小學校に夫々二教室の増築工事を行う。中學校に於ては野幌中學校に屋内体操場を設置し、又江別第三中學校後津分校には一教室を増設して二教室とし、従來二年生迄收容したものを三年生迄收容し、之れに依つて本校と巨路の關係から三年生の一部にあつた不就學者を無くすることにした。

懸案となつて江別第一中學校の新築と江別第二小學校の改築は前者は國庫補助、後者は起債の見通しか付かないために當初豫算に計上出来なかつたが、五月末迄には實施出来るか否かの見通しが付得ける見込である。社會教育に於ては、社會教育のための學校とも云うべき公民館の設置が必要だが小中學校を舎の整備に一段の努力を拂はねばならない時々の積立金に於ては従来より多額の積立を行つた上から、建設は見合せた。

社會労働施設費

民生委員の活動に依つて生活困難者の救済に遺憾の無いように努

てゐる。又不良兒童は母子家庭に多い。之れは母親が働きに出てゐる留守中、充分看護が出来ないためであり、又子供が足手まといになつて、働きたくとも働かざるで困る家庭もあるもので、之等の者のために保育所(托兒所)の建設を計画した。

六、保健衛生費

豫防衛生に力を入れた一方、不幸にして傳染病の罹病者を生じた場合の隔離病舎は、甚だしく腐朽しているもので、之れを新築し施設内容を充實することになっている。

七、産業經濟費

營農上の基本的施設である耕地防風林の造成に、又農業生産増強のため農薬用製品の購入に、尙又經營の合理化を図らむるため、酸性土壌矯正のための石灰施用と採種圃の經營に、夫々助成することにした。

八、財産費

町唯一の収益財産である千歳町に在る新築林六百四十五町歩は新に編成した三十ヶ年輪伐に依る天然更新の施業案に基づいて夫々施業することになっている。

以上が本年年度豫算編成上の方針と内容のあらすじである。

町より當面の事態を對照した政治士の經營で、今後新に起る事態に對しては、機を失することなく適切なる對策を講ずるつもりである。

(完)

町内展望

失敗が成功のもととなつた

デスカツション

町内の出来ごとで一般にお知らせして「他山の石」となるようなものを紹介したい。皆さんの投稿を歓迎する。

去る二月二十五日から二十七日まで三日間、北海道教育委員會と當町共催の冬期農村婦人講座を美原小學校を會場に開催した時のことである。日程の第三日目の午後には、當該部落から御願した講師と會員のみによる「デスカツション」を計画し、私が司會者となつて始めたのでした。相手は婦人のみであるし、こうした事には経験の少ない方々であるから、成功は期待しては居らなかつたのでありました。

が、意外にも、實質的に効果が多く失敗しつゝ結果に於ては成功したのであります。と云うのは、討論題目は「農村に於ける生活改善」でありまして、講師には江別町農協組の保倉組合長さん、町會議員の中村さん、農調委の萩原委員長さん、美原の佐藤校長先生、それに婦人側から保倉さんと古寺さんの女子青年團幹部との六人。一人の持時間五分乃至七分と云う同様の約束で始めたのですが、婦人講師の二名は持時間一ぱいと云う所まで、保倉組合長さんに渡つたが最後七分がトツクに過ぎて、熱帯病を引き續く氣は見えな

い、聴衆又は眞剣、司會者なるが故にイライラ落ち付きがないのが私一人、「どうぞ簡単に」と申し上げようかとのどの所まで出てきたのを、ぐつとおさえて「よし形式的に失敗しても實質で行う」と決心二十分餘で次が萩原さん、これ又農村凶徒來を振りかざして、収入減は支出を制してと冠婚葬祭の贅費節約を得意の雄辯で、保倉さんに負けず劣らぬ長時間、すでに根を切つた愛郷の熱意は次の中村さん佐藤校長先生と右えならえてどうも、全體の豫定時間の大半を第一回の講演に費してしまいかんじんの討論時間は三十分内外を除くのみ。婦人の方々は意欲深くてなかつ、質問の切り出しがないところから、助け舟を出すやうな氣をもんで居るうちに閉會の時間が来たと云う仕末。要するにデスカツションとしては形式的に失敗でありまして、この罪は司會者が甘んじて受けなければならぬ、講師講習員ともに水入らずの同一部落の方々の情郷の熱情で結ばれた二時間半の時間を超越して繰り出された零團氣こそ、美原部落振興のため必ずや近い將來に何等かの形となつて實を結ぶことであると信じて疑がいません。

うなるかな、去る婦人講習會期し、近衛に先んじて一校下、熱帯病の出現したことを

熱帯病の出現したことを